

《手紙》 **アイスプラネット** **ぐうちゃんへの手紙**
フレント 中二

ぐうちゃんへ

あの時のことは本当にごめんなさい。実はあの時ぼくはぐうちゃんが行ってしまうのがこわかったのかもしれない。そして裏切られたと思った。でもぐうちゃんの手紙を読んでそれは違ふと分かった。ぼくは本当にあんなことを言ったことを損していると伝えたかった。話が違ふけど、友達にぐうちゃんが送った写真を見せたら、「すごい!」「本当だったんだ」「ほかみたいに「デケー」とか言っていたよ。約束を守ってくれて本当にありがとう。ぼくがあんなことを言ったのにまだ気をつかってくれるぐうちゃんが大好きだ。帰ってきたら、またほら話をきかせてね。

悠太より

【評】主人公のゆう君に代わって、ぐうちゃんへ手紙の返事を書きました。ゆう君の本音がよく伝わってきます。

《日記》 **楽しかったお出かけ**
フロイド 小一

今日はお母さんと電車にのって出かけました。ザラで、ちゃ色のズボンとキラキラのついたピンクのベレーぼうを買いました。トマトみたいな形のぼうしです。とてもかわいいです。

それからジャパンハウスに行って「犬のためのけんちく」で、犬の家を見ました。女の子に「あなたも犬の家をかきたいですか。」と聞かれたので、小さい犬の家をかきました。お昼ごはんには、はじめてやき肉に行きまし



《観察記録文》 **すきなおやつ**
アクトン 小一

わたしのすきなおやつは、みたらしだんごです。かたちはまるくて、大きいスーパールボールぐらいです。おだんごには、しょうゆとさとうのどろりとしたタレがかかっています。なかはもちもちであまいです。たけぐしにさきっています。わたしがみたらしだんごをすきなりゆうは、あまいあじがすきだからです。



【評】補習校では生き物を飼っていないので、好きなおやつで観察文を書きました。家で調べてきたメモを元に、授業中に書き上げました。特徴をよく捉えて、上手に書けています。

アクトン 小一

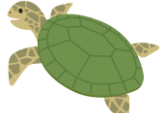
わたしのすきなおやつは、れいとうバナナです。あじは、あまくておいしいです。たべたらしやりしやりというおとがします。かたちはまるくて、五十ペンスぐらいです。いろはしろでまんなかはちやいろいです。たまにチョコをいれてアイスにしてくれるときがあるので、そのときはチョコバナナアイスになります。スーパにはうっていいのでおかあさんがバナナをかってきてつくってくれます。おいしくてからだにいいのでまいにち三つずついもうとたべます。



【評】お母さんが作ってくれる美味しいおやつのことととても詳しく書けました。本当においしいそうですね。

《感想文》 **はじめて知ったことを知らせよう**
フレント 小三

わたしは、すず木まるさんのウミガメ物語を読みました。



まず、はじめて知ったことは、カメがたまごから生まれた後、光に向かって動いていって、海にたどりつくことです。でも、みんなが海にはたどりつけません。たとえば、プラスチックのごみがじやましたり、自動はんばいきの光の方に行ってしまったら、きつねや鳥やへびやかに食べられたりするので。

日本で生まれたカメは、太平洋の向こうのカリフォルニアの海まで、二年かけて流されて行きます。二十才になると、体調一メートル、百キロいじょうの重さになって、一年で日本に帰ってきます。そして、自分が生まれたすなはまでたまごをうむのです。

かめは、一回に百このたまごをうみますが、大人になれるのは一びきいるかないかです。わたしは、かめは生きていくのは、たいへんだなと思いました。

【評】先生もウミガメ物語に感動しました。人間のせいで、プラスチックにじやまされたり、自動販売機の光に行ってしまうこともあるのです。

《日記》 **森で秋さがし**
アクトン 小一

さいしよに家でハイキングブーツをはきました。おとうさんとおかあさんと車でエツピングフォレストという森に行きました。車をとめて、森の中を歩きました。森の中には、黄色いはっぱと赤い色のはっぱとちや色のはっぱがあって、秋のきせつだなと思いました。森の中にいっぱいいきのこが生えていました。たなみたいに木にいっぱい生えてるきのこか、赤くてかみみたいなきのこか、かきみたいなきのこか、いろいろなしゆるいのきのこを見つけてました。



森の中は、しずかで秋がいっぱいできれいでした。また行きたいなと思いました。

【評】きのこの表現がとても上手で目に浮かんできました。題名もとても心を引きます。

